

**研究題目 「やってみたい！」と思いをもって、のびのびと表現する子の育成  
～小学1年 『ぼく・わたしたちのぺたぺたぺったん!』の実践から～**

## 1 研究のねらい

図工・美術部会では、子どもたちの「やってみたい」「もっとこうしたい」という思いを引き出し、のびのびと表現する子の育成をめざし、研究を実践してきた。

本学級の子どもは、絵をかいたり、工作をしたりすることが好きな子が多く、図画工作科の時間を楽しみにしている。「クレヨンとパスとなかよし」では、学校の中にあるざらざらや、でこぼこを探し、こすり出しを試した。自由にこすり出しを行う時間を十分に確保したことで、「でこぼこの形がたこみたい」「もっといろいろな模様を探してみたい」と、様々な模様を見つ



【こすり出しを行う様子】

ける活動を楽しむことができた。しかし、出てきた模様を使ってコラージュする活動を行った際、思い思いに作品をつくる子がいる反面、どんなものをつくったらよいか迷い、活動を楽しめない子もいた。絵の具の学習に入る導入として扱った「色水であそぼう」では、赤・青・黄の色水を使って様々な色の色水をグループごとにつくった。友だちがつくった色水と自分がつくった色水の違いを見つけ、子どもたちは、少しずつ変化する色に対して興味を示し、できた色水を並べたり積んだりして楽しく鑑賞することができた。自由に試す活動をたくさんすることで、前回活動を十分に楽しめなかった子も「もっとやりたい」と自分たちで活動を工夫する姿が多く見られた。



【色水あそびの様子】

このことから、子どもたちには友だちと一緒に楽しく表現したり、鑑賞したりしながら、もっと自分の思いを楽しみ自由に表現できる経験を増やしてほしいと考えた。そして、小学校での図工の授業が始まったばかりの1年生がさまざまな形の面白さや色の美しさに気付き、新しい形や色をつくり出す喜びを味わってほしいと考えた。

そこで、本研究では、写して遊ぶスタンプ教材での造形活動を取り上げた。身近にあるものに絵の具をつけ、写してできる形や色からイメージを広げ、自分らしい造形的な表現を楽しんでほしい。また、友だちと共に活動することで、友だちの表現の良さを見つけ、自分の表現に活かしてほしいと願い、本研究に取り組んだ。

## 2 研究の概要

### (1) めざす子どもの姿

- ◎「もっとやりたい」という思いをもち、くり返しスタンプ遊びを楽しみ、新しい形や色をつくり出す喜びを味わう子
- ◎友だちとのかかわりの中で、自分や友だちが写した模様や写し方の面白さに気付き、自分のスタンプ遊びに活かすことができる子

## (2) 研究の仮説と手立て

<p><b>仮説Ⅰ</b></p>	<p>子どもたちに「もっとやりたい」という思いをもたせるために、題材構想を工夫したり、さまざまな材料で試すことができる場を設定したりすれば、繰り返しスタンプを楽しみながら、新しい形や色をつくり出す喜びを味わうことができるであろう。</p>
<p><b>手立て</b></p>	<p>ア：子どもたちが興味をもって活動できる導入や題材構想の工夫 イ：進んで表現できるように、自由に使うことができる材料BOXの設置 ウ：満足感を味わえるような学びを発信する場の設定</p>
<p><b>仮説Ⅱ</b></p>	<p>友だちとかかわり合う時間、活動をふり返る時間を設定すれば、写し方や写した形の面白さや色の美しさに気付き、自分のスタンプ遊びに活かしていくだろう。</p>
<p><b>手立て</b></p>	<p>ア：グループ活動の時間や、「ぺたぺたタイム」「ほめほめタイム」の時間の設定 イ：子どもたちがスタンプした画像を貼り付けたふり返りワークシートの工夫</p>

## (3) 抽出児A児について

どんな学習にも真面目に最後まで丁寧に取り組むA児。図工では、何かを見て描くことは得意である。「色水であそぼう」では、始めは慎重に何色と何色の色水を組み合わせるか迷いながら活動していたが、グループで友だちと活動することで、その影響を受けながら少しずつ積極的に試す姿が見られた。そこで、友だちと一緒にスタンプ遊びをすることで、どんどん試していくことや、偶然できた形の面白さを見つけることの楽しさを味わい、のびのびとした気持ちで作品づくりに取り組んでほしいと考えた。また、友だちの写した模様と自分の模様を比べながら活動することで、色の重なり的美しさに気付き、新たな表現方法を試していけるようにしたい。自分の思いを表現したり、友だちから認められたりする経験を通して、自分の表現に自信をもち、どんどんチャレンジしていく姿を期待したい。

## (4) 題材構想

出会う・見通す

追究する・深める

いかす

生活科	<p>もうそろそろ真野菜も終わらね。</p>	生活科
真野菜の最後の収穫をしよう！	<p><b>学活</b> 真野菜を使ってスタンプができるんだね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買った真野菜どうしよう。</li> <li>・ 最後と一緒に世話してくれたいな。</li> <li>・ オクラやピーマンでやってみよう。</li> </ul>	<p>真野菜を使ってピザパーティーだし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真野菜で喜んでもらえてよかった。</li> <li>・ 野菜の切れ端でスタンプしてみよう。</li> <li>・ どんな模様が出てくるかな。</li> </ul>
<p><b>ぺたぺたタイム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな模様ができるかな。</li> <li>・ オクラやピーマンでやってみよう。</li> </ul>	<p>真野菜でスタンプしてみよう！(グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵本みたいに、野菜でスタンプしてみよう。</li> <li>・ オクラとナスを組み合わせていいね。</li> <li>・ 葉っぱも使っていていいね。</li> </ul>	<p>真野菜を使ってピザパーティーだし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真野菜で喜んでもらえてよかった。</li> <li>・ 野菜の切れ端でスタンプしてみよう。</li> <li>・ どんな模様が出てくるかな。</li> </ul>
<p>・ ピーマンで押しただけみたいになっちゃったよ。 <p>・ たくさん写したら、カラフルな天の川みたい。 </p></p>	<p><b>スタンプって面白いね！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手でスタンプしたらおもしろかった！</li> </ul>	<p>・ 野菜以外のものでもやってみよう。 <p>・ どんなものをスタンプにしようかな。</p> </p>
<p><b>もっといろいろなものでスタンプして、できたものを家族に見てもらいたい！</b></p>		
<p><b>何をを使ってどんなスタンプにしようかな。(個人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段ボールをくるくるしたらどうかな。</li> <li>・ スポンジをぺたぺたやってみよう。</li> </ul>		
<p><b>いろいろな材料で試すことができそう。もっといろいろ試してみよう！</b></p>		
<p><b>お気に入りのスタンプにチャレンジしたい！(組)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段ボールやフチフチを使ってやってみよう。</li> <li>・ 持って来た材料でたくさんのスタンプを作ろう。</li> </ul>		
<p><b>ぺたぺたタイム</b> 面白い模様を見つけたよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スタンプとスタンプを組み合わせて押ししてみよう。</li> <li>・ いろいろ写したら恐ろしいな。</li> <li>・ たまたま、思ったより形になったよ。</li> <li>・ 指に付いた絵の具を写してみよう。</li> <li>・ オ○さんの指や手のひらを使った模様は。</li> <li>・ 私もやってみよう！一緒にやろう！</li> </ul>	<p><b>ほめほめタイム</b> 友だちのスタンプのすてきなところを見よう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ このぎざぎざ模様がおもしろいね。</li> <li>・ オ○くんの模様は何を使ったの？いいね！</li> <li>・ オ○くんのひもと段ボールを組み合わせたスタンプ模様がいいね。</li> <li>・ オ○くんの違う色を重ねるやり方がすてきたね。</li> <li>・ 組で押しした紙を重ねたら、数層がぺたぺたぶつたんの世界みたいになったね！</li> </ul>	<p>ぼくはこれがかめの模様に見えるよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほんとうた。かめに見えるね。</li> <li>・ 何をしているところなの？</li> <li>・ 魚とおにぎりに見えるよ。</li> <li>・ これは、何に見える？</li> <li>・ お花みたいだね。</li> </ul>
<p><b>組でスタンプした紙をつなげたらぺたぺたぶつたんの世界みたいだね！もっと大きな紙でもやってみよう！</b></p>		
<p><b>1の2ぺたぺたぶつたんの世界をつくらう！(クラス)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今度は、クラスみんなでもっと大きな紙にぺたぺた。</li> <li>・ 早くもぺたぺたぶつたんの世界をつくらう。</li> <li>・ ハートみたいな形が気に入っているから、これを使ってみんなでクローバー畑にしてみよう。</li> </ul>		
<p><b>できた作品を見せてもらいたい！ぺたぺたぶつたんの世界に家族や地域の方を招待しよう。</b></p>		
<p><b>1の2ぺたぺたぶつたんの世界をみんなで楽しもう！(ファッションショー)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分オリジナルの服ができたよ。</li> <li>・ 手作りの自分のスタンプをお母さんにもやってみよう。</li> <li>・ スタンプをいろいろ試して楽しかった！</li> </ul>		
<p><b>いろいろな形があってもっとおもしろい！喜んでもらえてうれしいな！これからも工夫して作品をつくりたいな！</b></p>		

### 3 実践と考察

#### (1) 興味をもってスタンプ遊びに取り組むA児（Iーア）

導入として、絵本『やさいでべったん』を紹介したり、野菜の断面のシルエットクイズ（資料1）をしたりした。子どもたちは、「ピーマンだ」「どうやってスタンプしたのかな」「横に切るとタイヤみたいだね」など、スタンプでできた模様の面白さや、切り方によってもできる模様が違うところの面白さに気付き始めた様子だった。そして、「楽しそう」「家でやってみようかな」と身近なものの形の面白さやスタンプ遊びへの興味をもった。



【資料1】絵本を使った  
シルエットクイズ】

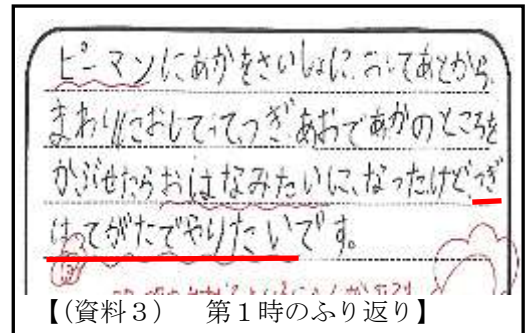
生活科の夏野菜づくりでは、植え方や育て方について地域の方にアドバイスをいただいた。その後、地域の方と育ててきた夏野菜でピザパーティーを行い、その際に出た野菜の切れ端でスタンプ遊びをした

（資料2）。野菜の切れ端は、様々な型になるように教師が切った。子どもたちからも「こうやって切ってください」と教師に頼み、切った材料の断面からどんな模様ができるか想像しながら材料を手取る姿が見られた。子どもたちのふり返りでは、「もっと他の野菜でもやってみたい」「野菜以外のものでもやりたい」とあり、スタンプ遊びの楽しさに触れ、野菜以外でもやりたいという思いを引き出すことができた。A児もふり返りで「つぎは、てがたでやりたい」（資料3）と、いろいろな野菜の切れ端をスタンプしたことで、次時への意欲が高まっていることが分かる。



【資料2】スタンプ遊びを楽しむ様子】

導入で、生活科の学習に関連させたことや、絵本やシルエットクイズで興味を引き出し、発言をつなぎ子どもたちの思いに寄り添った題材構想にすることで「次は、〇〇したい！」「もっとこうしたい！」という思いを引き出し、意欲を高めることができた。

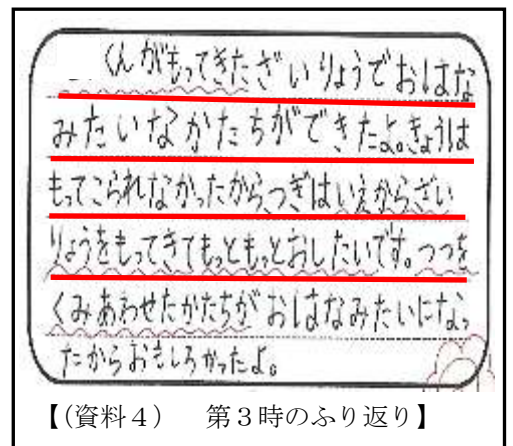


【資料3】第1時のふり返り】

#### (2) 友だちといろいろな材料を試していくA児（Iーイ）

スタンプ遊びでは誰でも自由に使用できるように材料BOXを準備した。材料BOXには、段ボール、トレイ、トイレットペーパーの芯、スポンジ、毛糸など1年生でも加工しやすいものを用意した。さらに、スタンプで使いたいものを家庭から持ってきてよい、それを貸し借りしてもよいこととして、子どもたちがどんどん試すことができるような環境をつくった。

そうしたことで、「次は洗濯ばさみで試してみよう」「スポンジを切ってみたらどうなるかな」と、次々と試してみたいという気持ちを引き出すことができた。みかんの皮や、地域の方と育てた落花生でスタンプする子もいた。A児は、始めのうちは少し周りの様子を伺っている姿があったが、材料BOXからさまざまな材料を手に取り、どんなふうにするか試していた。ふり返りでは、「〇〇くんがもってきたざいりょうでおはなみたいなかたちができたよ」「きょうは、もってこれなかったから、つぎはいえからざいりょうをもってきて



【資料4】第3時のふり返り】

ももっともおしたいです」（資料4），と友だちに貸してもらって押してみることで、自分の家からも材料を持ってきてスタンプしたいという思いをもった。また、段ボールの片面をはがし、セロハンテープの

芯に巻いてくっつけたものを手づくりして転がすように写し方を工夫する子もいた（資料5）。

材料BOXの中身を子どもが扱いやすいものにしたことで、切ったり、形を変えたり工夫してスタンプする姿が見られた。子どもたちのやりたいという気持ちを大切に、スタンプする活動を何度も試し、材料を工夫しやすい環境を設定することで、楽しみながら表現していく子どもの姿につながった。



【(資料5) スタンプを工夫する様子】

### (3) 友だちとの「ぺたぺたタイム」や「ほめほめタイム」で気づき生まれるA児（II-ア）

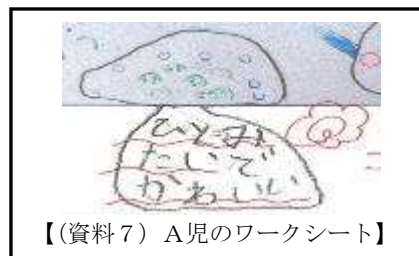
グループで行うことで自然に友だちとのかかわりが生まれるように、図工室の机に白色の模造紙を広げ、共同で活動できる場を設定した。スタンプする時間を「ぺたぺたタイム」、友だち同士で写してできた模様の良さを認め合う時間を「ほめほめタイム」とした。



【(資料6) 模様をトリミングできる教具】

「ほめほめタイム」では、「〇〇に見えるね」「たしかに」と共感し合い、「私は〇〇に見えるよ」と友だちとの表現の違いや見え方が違うことに気付くことをねらいとした。

「ぺたぺたタイム」後の「ほめほめタイム」では、最初は自由に他のグループの模造紙を見に行く時間を設けた。鑑賞したことを全体の場で共有する「ほめほめタイム」では、模様をトリミングして見ることができる教具を使って（資料6）、見る視点を絞ることで、子どもたちがどこに着目したらよいか明確にした。



【(資料7) A児のワークシート】

「ハチの巣みたい」「何でやったの」「花火みたいできれい」「いろいろな色が組み合わさっているね」「顔に見える」「本当だ。ここが目だね。口のレンコンがいいね」と子どもたちは形や色に着目して楽しんでいた。A児もゴーヤの輪切りで写した模様を始めは、「お花みたい」と言っていたが、同じグループの子が「顔みたい」と言ったことで「ひとみたいでかわいい」（資料7）とワークシートに書いた。友だちと見え方が違う面白さにも気付いていることが分かる。



【(資料8) 第3時で友だちの模様に興味をもつA児】

さらに、「何を使ったの」「どうやってスタンプしたの」と材料と写し方について問い返した。そうしたことで、「ぺたぺたタイム」でも、子どもたちは形だけでなく、どんなものでどのように写したのかを聞き合うようになった。第3時の「ほめほめタイム」でA児は、他のグループの模造紙からチンゲンサイの茎で写した模様を「バラみたい」「何でやったの」と友だちの模様を気に入った様子だった（資料8）。A児は、第4時の「ぺたぺたタイム」でアルミホイルをくしゃくしゃに丸めたもので写した模様さらに、エノコログサ（ネコジャラシ）やイチョウの葉を使い、友だちと相談しながら、スタンプする姿が見られた。前時の友だちの表現から「バラ」をイメージし、活かす姿が見られた（資料9）。



【(資料9) 第4時で友だちとスタンプをするA児】

「ほめほめタイム」に限らず、「ぺたぺたタイム」の際も自分や友だちの模様の良いところに気付いたり、真似をしたりできるような場を設定することで自分の表現方法を増やしていく様子が見られた。「次はこうしたい」「こうしたら、どうなるかな」と、友だちとの見方の違いや形の面白さに気づきながら

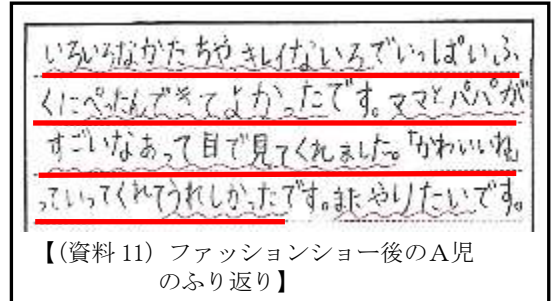
ろいろ試すことで、自分のスタンプに活かす姿につながった。

#### (4) ファッションショーを終えて満足するA児 (I-U)

オリジナルの服をつくった後に実施した授業参観では、保護者の前でファッションショーを行った(資料10)。A児は、授業参観のふり返りで「いろいろなかたちやキレイないろ  
でいっぱいふくにぺったんできてよかった」「ママとパパが  
すごいなあって目で見てくれました。『かわいいね。』って  
いってくれてうれしかったです」(資料11)などから、オリジナルの服ができたことや、保護者に見てもらえて喜んでいることから満足感や充実感を味わい、作り出す喜びを味わうことができたことが分かる。



【(資料10) 授業参観でのファッションショー】

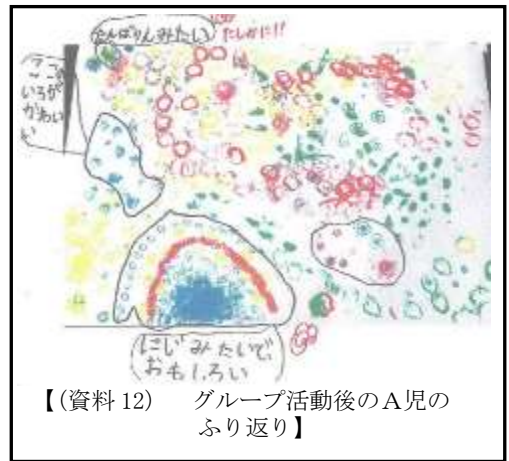


【(資料11) ファッションショー後のA児のふり返り】

ファッションショーという学びを発信する場を設けたことで、家族に認めてもらえた満足感から「またやりたい」という次への意欲を引き出すことができた。

#### (5) 画像つきワークシートで活動をふり返るA児 (II-I)

前時のスタンプ遊びで気付いたことを活かせるよう、グループごとにスタンプした模造紙の画像をワークシートに貼りつけた。A児は画像をじっくりと見て、「たんぱりんみたい」「このいろがかわいい」「にじみたいでおもしろい」など、ふり返りに書き込みをした(資料12)。さらに、オリジナルの服を作った後に自分のお気に入りの模様をタブレットのカメラで撮影した。A児は、豆腐のカップでオリジナル服に写した模様、「ギザギザハート」という名前を付けた。「いろがキレイ」「3つのおなじもようがくみあわさっているのがいい」



【(資料12) グループ活動後のA児のふり返り】

(資料13) と、形の面白さや、色の美しさに気付くことができた。

第6時のグループでのスタンプ遊びの後のふり返りで、A児は、「おもってたかたちじゃないときが、ぺったんのおもしろいところ」(資料14) と、偶然できた模様の面白さに気付いていることが分かる。

スタンプした画像を貼り付けたワークシートを使ったことで、子どもたちは活動のことを思い出しながら、写し方や写した形の面白さに気付くことができた。

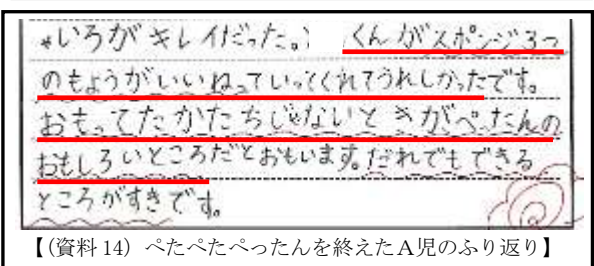
### 4 研究のまとめ

#### (1) 生活の中でも色や形を楽しむA児

本研究では、「もっとやってみたい!」とのびのび表現するA児の姿があった。子どもたちは、最後に制作したオリジナルの服にたくさんの模様をつけていた。普段の生活の中でも形の面白さや色の美しさを見つけ、友だちや教師にそれを共有する姿が見られるようになった。A児は、「〇〇くんがスポンジ3つのもようが



【(資料13) A児のお気に入りの模様についての説明】



【(資料14) ペたペたぺったんを終えたA児のふり返り】

いいねっていつてくれてうれしかったです」（前頁資料14）と、書いてあるように、自分のお気に入りの模様以外にも友だちに褒めてもらえてうれしそうであった。友だちに認めてもらえたことで、花のような具体的なものをきれいに押ししたいとこだわっている部分もあった。そして、最後の服づくりでは、スポンジで写した抽象的な模様に対して「いろんなおおきさのスポンジといろいろないろをくみあわせておしました。スポンジのザラザラしたかんじがいいなどおもいました」（資料15）とふり返っていた。

## （2）研究の成果

### 仮説Ⅰについて

導入で絵本を使って興味をもたせたことやシルエットクイズを通して形に着目させたことや、ピザパーティーでの野菜の切り端を使ってスタンプ遊びをしたことで、子どもたちの「やってみたい」という意欲を引き出すことができた。さらに、自由にスタンプ遊びができるように材料BOXを設置したことで、何度もくり返し様々な材料を使ってスタンプする姿が見られた。最後に、保護者に見てもらおうファッションショーを設定したことで、「もっとやりたい」と意欲的に最後まで取り組み、つくり出す喜びを感じるA児の姿が見られた。こうしたことから、仮説Ⅰの手立ては有効であったといえる。

### 仮説Ⅱについて

「ぺたぺたタイム」で大きな模造紙を使いグループで活動できる場を設定し、「ほめほめタイム」でお互いのスタンプの模様を鑑賞する時間を設定したことで、友だちのスタンプの良さや違いから形の面白さに気付くことができた。また、制作した画像を貼り付けたワークシートを活用し、じっくりとふり返る時間を設定したことで、形だけでなく色の美しさに気付くことができ、自分のスタンプ遊びに活かしていくA児の姿が見られた。以上のことから、仮説Ⅱの手立ては有効であったといえる。

## （3）今後の課題

授業の後半で「それぞれの模造紙を全体的に見て、どんな感じがするか」と、問いかけ、グループごとに作品名をつけることにした。しかし、それまでは一部の模様について何が見えるか問いかけていたので、細かな部分だけに注目することが多くなってしまった。そのため、作品全体を見てイメージを膨らませられるように問いかけることも必要だと感じた。

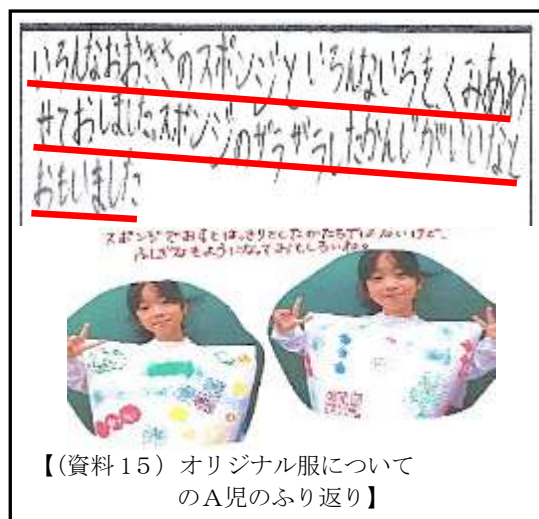
## 5 終わりに

この題材の後に実践した「やぶいた形から生まれたよ」では、色画用紙を自由に破ってから作品づくりに取り組んだ。その際に偶然できた形を様々な角度から見て、何に見えるか見え方を楽しみながら、貼り合わせて作品をつくった。A児は、「何も考えずやぶいたり、やぶいたいろいろな形から何に見えるか見つけたりするのが楽しかった」とふり返った。また、「やぶいたときの音が面白かった」と、耳から聞こえる音を通して作品づくりを楽しんでいた。



【A児の作品】

その後の活動でもA児は、じっくりイメージをもちながら新しくつくり出すことを楽しんで取り組む姿が見られた。また、スタンプ遊びで形や色にたくさん触れたことで、失敗を恐れずどんどん試していく姿につながった。今後も造形遊びや題材との出会いを大切にしながら、多くの形や色を豊かに捉え、のびのびと表現できる子の育成を目指していきたい。



【資料15】オリジナル服についてのA児のふり返り】